

比較貸借対照表

(平成23年3月31日現在)

(単位：千円)

借 方				貸 方			
[資産の部]				[負債の部]			
1 公共資産	前年度	当年度	増減	1 固定負債	前年度	当年度	増減
(1) 有形固定資産				(1) 地方債	32,731,415	32,198,414	△ 533,001
①生活インフラ・国土保全	67,249,829	66,620,596	△ 629,233	(2) 長期未払金			
②教育	31,830,320	31,958,240	127,920	①物件の購入等	436,692	362,574	△ 74,118
③福祉	2,077,553	1,973,946	△ 103,607	②債務保証又は損失補償			
④環境衛生	4,285,114	3,934,133	△ 350,981	③その他			
⑤産業振興	13,288,865	12,922,912	△ 365,953	長期未払金計	436,692	362,574	△ 74,118
⑥消防	1,635,098	1,662,083	26,985	(3) 退職手当引当金	5,535,386	5,244,295	△ 291,091
⑦総務	8,492,037	8,423,127	△ 68,910	(4) 損失補償等引当金			
有形固定資産計	128,858,816	127,495,037	△ 1,363,779	固定負債合計	38,703,493	37,805,283	△ 898,210
(2) 売却可能資産	124,025	124,025					
公共資産合計	128,982,841	127,619,062	△ 1,363,779				
2 投資等				2 流動負債			
(1) 投資及び出資金				(1) 翌年度償還予定地方債	3,264,870	3,205,172	△ 59,698
①投資及び出資金	2,886,227	3,153,646	267,419	(2) 短期借入金(翌年度繰上充用金)			
②投資損失引当金				(3) 未払金	74,118	74,118	
投資及び出資金計	2,886,227	3,153,646	267,419	(4) 翌年度支払予定退職手当	428,349	642,140	213,791
(2) 貸付金	484,914	477,141	△ 7,773	(5) 賞与引当金	272,583	252,420	△ 20,163
(3) 基金等				流動負債合計	4,039,920	4,173,850	133,930
①退職手当目的基金	3,814	345,595	341,781				
②その他特定目的基金	5,201,704	5,162,605	△ 39,099	負債合計	42,743,413	41,979,133	△ 764,280
③土地開発基金	400,000	400,000					
④その他定額運用基金	25,752	25,752					
⑤退職手当組合積立金							
基金等計	5,631,270	5,933,952	302,682				
(4) 長期延滞債権	738,880	802,335	63,455				
(5) 回収不能見込額	△ 196,630	△ 204,491	△ 7,861				
投資等合計	9,544,661	10,162,583	617,922				
3 流動資産				[純資産の部]			
(1) 現金預金				1 公共資産等整備国県補助金等	17,795,005	17,767,176	△ 27,829
①財政調整基金	1,458,313	1,470,742	12,429	2 公共資産等整備一般財源等	96,379,378	96,915,679	536,301
②減債基金	34,471	34,490	19	3 その他一般財源等	△ 15,731,555	△ 15,526,114	205,441
③歳計現金	1,140,943	1,651,076	510,133	4 資産評価差額	153,166	143,385	△ 9,781
現金預金計	2,633,727	3,156,308	522,581	純資産合計	98,595,994	99,300,126	704,132
(2) 未収金							
①地方税	214,105	305,696	91,591				
②その他	19,081	115,636	96,555				
③回収不能見込額	△ 55,008	△ 80,026	△ 25,018				
未収金計	178,178	341,306	163,128				
流動資産合計	2,811,905	3,497,614	685,709				
資 産 合 計	141,339,407	141,279,259	△ 60,148	負債・純資産合計	141,339,407	141,279,259	△ 60,148

(単位：千円)

	前年度	当年度	増減
※1 他団体及び民間への支出金により形成された資産	2,363,059	2,315,125	△ 47,934
①生活インフラ・国土保全			
②教育	52,862	64,385	11,523
③福祉	417,573	410,069	△ 7,504
④環境衛生	1,711,500	1,610,703	△ 100,797
⑤産業振興	9,083,095	8,299,457	△ 783,638
⑥消防	48,997	40,067	△ 8,930
⑦総務	5,694	52,532	46,838
計	13,682,780	12,792,338	△ 890,442
上の支出金に充当された財源			
①国県補助金等	2,312,163	2,171,345	△ 140,818
②地方債	2,442,637	2,246,038	△ 196,599
③一般財源等	8,927,980	8,374,955	△ 553,025
計	13,682,780	12,792,338	△ 890,442
※2 債務負担行為に関する情報			
①物件の購入等	50,000		△ 50,000
②債務保証又は損失補償 (うち共同発行地方債に係るもの)	24,718	24,718	
③その他	4,098,421	3,246,016	△ 852,405
※3 地方債残高(翌年度償還予定額を含む)のうち次の金額については、償還時に地方交付税の算定の基礎に含まれることが見込まれているものです。	24,521,116	24,990,853	469,737
※4 普通会計の将来負担に関する情報			
普通会計の将来負担額	58,634,808	56,480,825	△ 2,153,983
[内訳] 普通会計地方債残高	35,996,285	35,403,586	△ 592,699
[負債計上]	[35,996,285]	[35,403,586]	[△592,699]
債務負担行為支出予定額	2,849,965	2,420,710	[△429,255]
[負債計上]	[510,810]	[436,692]	[△74,118]
[注記]	[2,339,155]	[1,984,018]	[△355,137]
公営事業地方債負担見込額	13,572,984	12,517,692	△ 1,055,292
[注記]	[13,572,984]	[12,517,692]	[△1,055,292]
一部事務組合等地方債負担見込額	251,839	271,738	19,899
[注記]	[251,839]	[271,738]	[19,899]
退職手当負担見込額	5,963,735	5,867,099	△ 96,636
[負債計上]	[5,963,735]	[5,867,099]	[△96,636]
第三セクター等債務負担見込額			
[負債計上]			
[注記]			
連結実質赤字額			
一部事務組合等実質赤字負担額			
基金等将来負担軽減資産	40,392,883	39,022,379	△ 1,370,504
[内訳] 地方債償還額等充当基金残高	5,062,026	5,382,758	320,732
地方債償還額等充当歳入見込額	2,705,711	713,704	△ 1,992,007
地方債償還額等充当交付税見込額	32,625,146	32,925,917	300,771
(差引)普通会計が将来負担すべき実質的な負債	18,241,925	17,458,446	△ 783,479
※5 有形固定資産のうち土地の金額、また、有形固定資産の減価償却累計額は次のとおりです。			
有形固定資産のうち土地	31,274,903	31,681,437	406,534
有形固定資産の減価償却累計額	71,404,597	75,389,047	3,984,450
※6 過去の誤謬の修正再表示			

前年度の回収不能見込額算定の基礎となる不能欠損実績率において、市民税(個人)の過去5年間の滞納繰越収入額累計119,901千円が、誤って19,901千円と計上されていた。また、普通会計地方債残高35,996,285千円が元利償還額千円未満の端数処理により35,996,284千円と計上されていた。前年度の財務諸表は、この誤謬を訂正するために修正再表示している。

修正再表示の結果、修正再表示を行う前と比べて、前年度貸借対照表は、投資等と流動資産がそれぞれ67,514千円、29,933千円増加し資産合計が97,446千円増加した。

固定負債は1千円増加し負債合計が1千円増加した。公共資産等整備一般財源等とその他一般財源等がそれぞれ67,513千円、29,932千円増加し、純資産合計が97,445千円増加した。

前年度行政コスト計算書は、支払利息が1千円増加し、回収不能見込計上額が97,446千円減少し、経常行政コストと純経常行政コストがともに97,445千円減少した。前年度の市民1人当たりの資産は1,970千円となり1千円増加し、市民1人当たりの純経常行政コストは339千円となり2千円減少している。